

8月9日・長崎はにわ
れますが、この日、日中立
約を破つてソ連国境をはじめ
め、北朝鮮、南韓太、千島

支配層の驚くべき不明はもと
より、アジア太平洋戦争後の
悲劇と犯罪はだれにもわかる
ことではないかと思ひます。

（茨城県9条連代表・茨城
県抑留展代表）

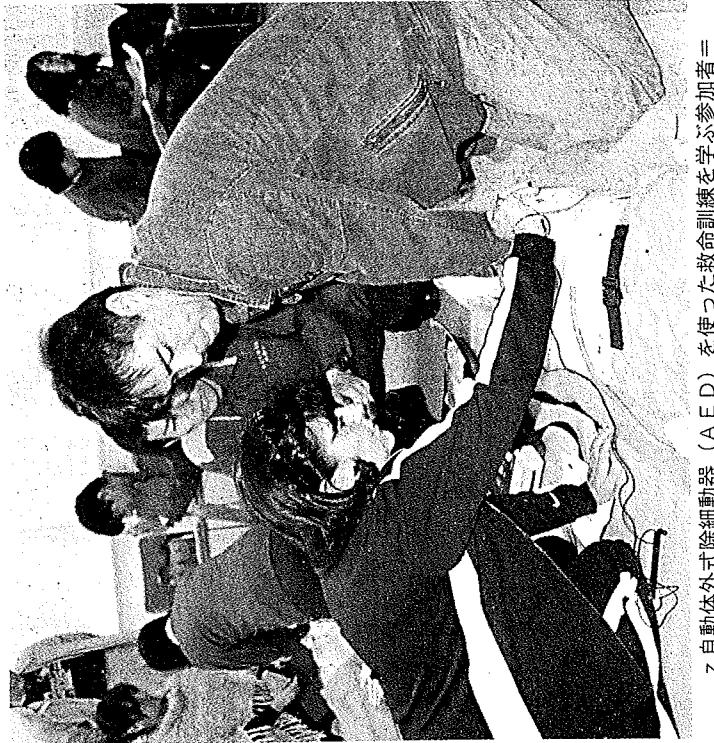
その後、同事務所で意
見交換会を行つた。が国土大臣表態を
する。（敬称略）
参加者からは「泥水
都市緑化の普及

試飲会 開催

総市役員会による
農業の栽培面積は5
年計100ha（2009年）
東市・境町が産地となる
主な受賞者は次の通り。
（敬称略）

【農業部】斎藤秀樹（天子
町）、吉成弘輝（天子
町）、深山じゅん茶の部
【農業部】野口博史（坂東市）、
塚田謙洲（古河市）、
野村和包（境町）
【農業部】深山じゅん茶・野口博史
【農政局長】深山じゅん茶・斎藤秀樹
（橋本ひじみ）

数
量
など
が
同。
前年同月比は15
%減だった。
業種別では石油・石
炭製品工業、化学工業
などが上昇し、鉄鋼
機械工業は建設財など
が上昇し、鉄鋼
機械工業用生産財、
アラスチック製品
工業、一般機械工業な
どが低下した。財別
で、指數水準は96.8
（橋本ひじみ）



2自動体外式除細動器（AED）を使った救命訓練を学ぶ参加者＝
常総市水海道高野町のボリュームセンター茨城

外国人を被災者支援の担い手に 外国人を被災者支援の担い手に

1/27 常総講義や訓練、県が初開催

県内在住外国人を対象とした防災講座が24日、常総市水海道高野町のボリュームセンター茨城で開催された。プラジル人学校の教員ら約30人が参加し、訓練や講義に臨んだ。外国人法や注意点の説明に続いた実技で手順を確立や被災者支援の扱いを確認していく。災害時の対応や問い合わせ先をまとめた冊子の説明や、消防訓練も行われた。県は7月、地域のリーダー的な役割を務める常総市のプラジル人学校の教師を務める常総市のプラジエラ・シルバさん（28）は「学校で子どもたちの面倒を見ているので大事な経験になつた。地震や火災の備えなども面倒見ているので、まずはいかが忙がりこなすができた」などと振り返った。身の学校教員や希望者は、自ら日本語で行なうことができる。講義は日本語で行われた。今回は一般の人が対象の講座で、県内に住むブラジル人やペルー出身の学校教員や希望者は、自動体外式除細動器（AED）の使用方法などを対象に、救助や防災知識普及などにあたる防災協力者を育成するための研修会を常総市内で実施した。常総地方広域市町村圏事務組合消防本部による救命訓練の講義は、自らの経験から、「多くのうつむき目をもつた」と話していた。（飯田勉）

仕分け広告された？ 仕分け広告された？

22件に応募わずか2件
27日に始まる政府の事業仕分け第3弾で、行政刷新会議がホームページ（JP）や配布資料に掲載する広告を募集したところ、広告件数は22件に対し、2件しか応募がなかったことがわかった。

インターネット中継の受託業者も、5社から4社に減少。昨秋から、政府は今回、経費削減を狙い、初めて広告を募集したが、当社は「複数の会社に仕分け人気」をみて同じものを中継しなかつた。

常総市は、今年4～5月の第1弾で約3900万円、今年4～5月の第2弾で約4600万円の経費がかかった。一方、第1弾、第2弾とも会場での傍聴者は1日平均100人程度で、昨年11月の第1弾で約3900万円の経費がかかる。「こんながら行政刷新会議では、会場費や印刷費なども理り無理で受託するのに、メリッ

仕分けそのもの
を節減しようと
行政刷新相の指揮
会場で傍聴者らに
資料と事業仕分け
への広告のほか
無償提供も募った
が、今日に至るま
でそれによる集
はゼロ。13日に開
催された1回目は、
12社分の資料広告
に実施したが、今
度はいすゞ車のま
まがなかったこと
がわかった。

22件に応募は10社
へ広告は1社に計20万円に
対して応募は12社分の4
件に実施した1回目
は、いすゞ車のま
まがなかったこと
がわかった。